

平成23年度実績 基本施策評価表

〔結果一覧表〕

NO.	基本施策	評価	計画目標	H23実績値
1	危機管理体制の整備	A	A 定期的な応急給水訓練等の実施 実施目標:3回	給水車等操作訓練をはじめとした各種訓練を定期的に実施:15回
	応急給水対策の推進		A 配備済み給水バルーン機能確認	全70箇所避難所の給水バルーン点検
	施設の警備体制の強化		A 機械警備、人的巡視の強化・拡大	機械警備:22/23施設 人的巡視:基幹施設を中心に巡回頻度を向上
2	応急給水拠点・緊急対応設備の整備	A	A 応急給水拠点整備	春日受水場更新工事(機械・電気・土木)契約完了
3	水源の二重化	A	-	H19完了 〔評価の対象から除外〕
	送水ルートへのバックアップ機能の強化		A 中宮浄水場から田口山配水場間への新たな送水ルートの設置	平成21年9月 工事着手、中宮浄水場内にシールド工事の到達立坑の築造を完了、田口山配水場内および中宮浄水場内の送水管連絡工事に着手
4	浄水・配水施設の耐震強化	A	A 施設の重要度等を踏まえた耐震補強の推進	春日受水場更新工事の契約完了、管理棟・水質試験棟更新工事の基本設計実施
	管路の計画的・効率的な耐震化		A 整備延長 約10km	約10km
5	教育・訓練環境の整備	A	A 専門技術を要する業務について、職員の資格取得を推進	専門的技術力が発揮できる体制確立をめざし、資格取得を促進
	技術の継承		A 技術の継承にかかる取り組みの促進	日常業務におけるOJTに取り組むとともにマニュアル活用等の積極的な取り組み
6	関係事業体間の相互応援協力体制の拡充	A	A 情報・通信、災害を想定した定期的な共同訓練の実施	新アクアネットを活用した府・市町村共同の大規模災害・事故に対する訓練に参加
	ライフライン事業者間のリスク管理の連携		A ライフライン管理者との積極的な連携	各事業者との工事情報の交換及び工事間の協議調整を実施
7	浄水施設・配水施設の計画的・効率的な更新・改良	A	A 計画に基づく更新・改良事業の実施	津田低区配水場シーケンサ、東部長尾配水場電気設備増設及び更新工事など機器設備の更新・改良工事を実施
8	管路の計画的・効率的な更新	A	A 整備延長 約10km	約10km
9	継続的な経営改革	A	A 経済性、有効性、効率性を重視した経営の推進・経営基盤の強化	計画に基づく事業執行・予算への反映
	企業債残高の縮減		A 企業債等残高の縮減	琵琶湖総合開発割賦負担金の繰上償還実施
	水道事業がITを活用した経営分析手法の構築		-	H19完了 〔評価の対象から除外〕
	経営評価システムの構築		A 経営評価システムを構築し、経営充実を推進	平成22年度実績評価実施、ホームページへの公表
10	職員定員管理の適正化	S	S 25.4.1正職員数 131人(管理者除く)	23.4.1正職員数 119人(管理者除く) 前年比▲2人
	上下水道事業の組織統合		-	H22完了 〔評価の対象から除外〕
11	施設・管路等の適切な維持管理	A	A 消防署等と連携した消火栓の適切な維持管理	出水不良箇所3基のうち2基の改良工事を実施し機能確保、1基は消防署と協議中
	ライフサイクルコストの低減に配慮した施設整備、機器・設備の購入		A 環境負荷低減効果が認められる資材の調達、建設機械の使用	浄水施設等の長期修繕計画(素案)策定に向けた取り組み

NO.	基本施策	評価	計画目標	H 2 3実績値
12	水道GLP、水質検査計画に基づく水質管理体制の強化	A	A 適切な浄水処理の確立	水道GLP対象検査として、水道法第13条、第18条に基づく検査を実施
	水質管理の共同化		A 水質管理の共同化	淀川水質協議会等と共同で琵琶湖・淀川水系の水質汚濁について継続的な監視を実施
13	鉛管解消の推進	A	A 鉛管解消事業の推進	予定区域の鉛管解消事業を計画どおり完了
14	小規模貯水槽の点検	A	A 水質異常を来している小規模貯水槽件数	19件の水質異常を確認し、貯水槽の適正利用について助言・指導を実施
15	料金体系のあり方の検討	A	A 今後の経営状況を踏まえ、料金体系のあり方を検討	水道料金体系の改定試案を提示
16	窓口サービス・料金支払の利便性の向上	A	—	H 2 0完了 〔評価の対象から除外〕
	多様な収納方法の検討		A 新たな収納方法の検討	クレジット収納の必要経費等について試算を行い、他の水道事業体の実施状況の調査を実施
17	直結給水の拡大	A	A 直結給水の順次拡大	対全給水世帯数 78%
18	広報・広聴機能の充実	A	A パンフレット作成・全戸配布	検針員によるパンフレット全戸配布
	水道水によるPR活動の推進		A 水道水について理解を得る取り組みを推進	出前講座や各種イベント等で安全・安心な水道水のPRを実施
19	民間委託等の拡大	S	S サービス提供窓口業務等の委託拡大	お客さまセンター窓口業務、水道保全課
	施設整備の民間活力導入		A PFI導入等の可能性を調査・検討	中宮浄水場管理棟・水質試験棟更新事業のPFI導入可否について検討を実施
20	市民等との協働による災害応援協力体制の確立	B	B 市民公募による災害応援協力制度の構築	未達成
21	市民参加・協働による親しみのある水道事業活動の展開	A	A 新たな市民参加手法の構築	広報アドバイザー制度の活動内容を検証
	市民参加による水質検査		A 市民による水質検査の実施 対象市民の拡大	全20配水系統29人の水質モニターによる毎日検査を実施
22	施設の省エネ対策の推進	A	A ISO14001の継続的な取り組み	ISO14001の目的・目標及び運用管理手順書に沿った運用の継続
	建設副産物等の再生利用の推進		A 建設副産物等の再生利用の推進	使用済み粒状活性炭190トンをコークス原料として再利用するため売却
23	各種関係団体との協力による積極的な環境保全活動	A	A 積極的な環境保全要請活動の実施	積極的な環境保全要請活動の実施

1. 基本施策総合評価

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
SS	0	0	0	0	0
S	0	2	3	2	2
A	21	20	20	20	20
B	2	1	0	1	1
C	0	0	0	0	0
計	23	23	23	23	23

2. 計画主要施策評価

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
SS	0	0	0	0	0
S	3	3	3	3	2
A	30	30	33	33	33
B	7	5	1	1	1
C	0	0	0	0	0
小計	40	38	37	37	36
評価対象外	0	2	3	3	4
総計	40	40	40	40	40